



# 王一だより

令和 6 年 2 月 号  
北区立王子第一小学校  
校長 岡本 直美

教育目標 **な**仲良く助け合う子 **か**身体をきたえ元気な子 **よ**よく考え最後までやりぬく子 **し**親切で礼儀正しい子

## 能登半島地震から想う

副校長 水元 満哉

能登半島地震から 1 か月が経過しました。改めまして被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

地震が発生し、まだ情報が多く伝わっていない頃、被災者である小・中学生が、自分たちにできることはないかと考え、避難所でおしぼりをお年寄りに配ったり、シャワールームの受付を担当したり、避難所新聞を手書きで掲示して情報提供したりしているニュースを目にしました。

1 月 1 日に起きた震災なので、学校がまだ始まっていません。そんな中で、自分たちにできることはないかと考え、地域の方と手を取り合い支え合っていました。この地域が大好きだから、この地域が復興する日まで関わっていきたくて決意する中学生もいました。また、高校進学などを控えた中学 3 年生を含む中学生の集団避難のニュースもありました。集団避難するか、現地に残りながら家族と共に生活するか、難しい選択だと思います。最後の選択は「子供の決断を尊重する」という保護者もいました。

これらのニュースを見たとき、様々なことを考えさせられました。自分から問題を見出し、課題解決していく実践力、課題に対して自ら考え、主体的に判断し行動する力、そして何より、地域を愛する郷土愛、家族や地域の方々との関わり、共に支え合う豊かな人間性。この子供たちは、本当に普段から学んでいることが、自分の身となっているのだなと感じました。

子供たちは、学校生活（日々の学習・友達との関わり・行事など）を通して、様々な経験を積み重ねています。その経験を基に、日常生活で実践していくことで、確かな力となっていきます。様々な力を育むためにも、一人一人の子供たちが、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

結びに、能登の被災地では、寒さの厳しい中、避難生活を送られている方々が、未だに多くおられます。一日も早い現地の復興を願っております。

【王一小ホームページ】  
<https://www.city.kita.tokyo.jp/gak/koshien/kosodat/e/shogakko/gakk/ojoho/kuritsu/ojodai1/index.html>



## RJW (ロープジャンピングウィーク) ・ 6 年生を送る会

今年度も残り 2 か月を切りました。今月は、RJW (ロープ・ジャンピング・ウィーク) や 6 年生を送る会が予定されています。しばらくの間、安全管理のため、休み時間のボール遊びを中止し、RJW に向け、長縄の練習を行えるようにしました。すると、予想を超える人数の子供たちが、寒さの厳しい校庭に出て練習に取り組む姿があり、驚きました。そこで、ある学級の練習の様子を見ていると、上手に跳べない友達同士が跳ぶタイミングをアドバイスし、苦手な友達が跳んだとき自分事のように喜び、跳べた子供も満足そうな表情をしていました。1 回目の記録会は終わりましたが、9 日に 2 回目の記録会があります。みんなで力を合わせ、学級の記録が 1 回でも更新できることを願っています。

6 年生を送る会に向けては、どの学年もお世話になった 6 年生に喜んでもらえるように、アイデアを練っているようです。きっと本番では 6 年生に喜んでもらえ、楽しい会になることでしょう。在校生の皆さん、練習がんばりましょう！楽しみにしています。